

『高等学校国語科（言語文化）』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年7月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1ホーム

(3) 学年・学級 第1学年1組(40名)

使用教科書 言語文化(筑摩書房)P.35、P.45～P.55

(4) 単 元 名 人間の普遍的な姿 伊勢物語

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』や『十訓抄』などの説話集を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。和歌の修辞についてはまだ学習していない。

【単元のねらい】

- ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。
- ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、落ち着いて学習に取り組むことができている。古語辞典を使って言葉の意味を調べるなどの予習もおおむねできているが、古典を苦手とする生徒もいる。また、自分の意見や考えを積極的に表現することに慣れていない生徒もある。

(6) 指導計画(8 時間)

次	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	○『伊勢物語』の特徴を知る。 【「芥川」(P.45～P.46)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次	【「東下り」(P.47～P.49)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第三次	【「筒井筒」(P.50～P.52)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第四次	【「梓弓」(P.53～P.54)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第五次	○「芥川」「東下り」「筒井筒」「梓弓」にある和歌から一つ選び、その和歌に込められた人物の心情を口語自由詩にして発表し合うことで、内容の読みを深める。	一斉 個別 グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

07

校種・教科等

高校・国語

受審番号

氏名

『高等学校国語科（言語文化）』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年7月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1ホーム

(3) 学年・学級 第1学年1組(40名)

使用教科書 言語文化(筑摩書房)P.35、P.45～P.55

(4) 単 元 名 人間の普遍的な姿 伊勢物語

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』や『十訓抄』などの説話集を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。和歌の修辞についてはまだ学習していない。

【単元のねらい】

- ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。
- ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、落ち着いて学習に取り組むことができている。古語辞典を使って言葉の意味を調べるなどの予習もおおむねできているが、古典を苦手とする生徒もいる。また、自分の意見や考えを積極的に表現することに慣れていない生徒もある。

(6) 指導計画(8 時間)

次	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	○『伊勢物語』の特徴を知る。 【芥川(P.45～P.46)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次	【「東下り」(P.47～P.49)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第三次	【「筒井筒」(P.50～P.52)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第四次	【「梓弓」(P.53～P.54)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第五次	○「芥川」「東下り」「筒井筒」「梓弓」にある和歌から一つ選び、その和歌に込められた人物の心情を口語自由詩にして発表し合うことで、内容の読みを深める。	一斉 個別 グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『高等学校国語科（言語文化）』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年7月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1ホーム

(3) 学年・学級 第1学年1組(40名) 使用教科書 言語文化(筑摩書房)P.35、P.45～P.55

(4) 単 元 名 人間の普遍的な姿 伊勢物語

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

対象とする生徒は、高校入学後、『宇治拾遺物語』や『十訓抄』などの説話集を通じて、歴史的仮名遣いや品詞、用言の活用などの文法事項を学習するとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読し、古文に親しんできた。和歌の修辞についてはまだ学習していない。

【単元のねらい】

- ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
- ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。
- ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。

【児童(生徒)の状況】

全般的には、落ち着いて学習に取り組むことができている。古語辞典を使って言葉の意味を調べるなどの予習もおおむねできているが、古典を苦手とする生徒もいる。また、自分の意見や考えを積極的に表現することに慣れていない生徒もある。

(6) 指導計画(8 時間)

次	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	○『伊勢物語』の特徴を知る。 【芥川(P.45～P.46)】 ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第二次	【東下り】(P.47～P.49) ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第三次	【筒井筒】(P.50～P.52) ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第四次	【梓弓】(P.53～P.54) ○文語のきまり、古典特有の表現などについて理解し、読み慣れる。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	一斉 個別 ペア	知識・技能 思考・判断・表現
第五次	○「芥川」「東下り」「筒井筒」「梓弓」にある和歌から一つ選び、その和歌に込められた人物の心情を口語自由詩にして発表し合うことで、内容の読みを深める。	一斉 個別 グループ	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください